



片瀬山防災だより

第13号:2011年8月

9月10日〔土〕は避難・防災訓練の日。地域の大切な行事です。

声をかけ合って、安否確認をして、皆で参加しましょう。

もう一度身の回りを見回してみませんか？

防災への備えというと水・食料、器材とか物に対して考えがまず行き、それらを備える事で安心されている方も少なくないと思います。比較的大きな災害発生時には平時は何でもないことのように思われる情報の備えも重要になります。保険証、かかりつけのお医者、常に服用している薬、無くなると生活に不自由をする様な携行品（眼鏡、補聴器）を再生する為の情報、平時ではかかりつけのお医者さんがいて、メガネ等の携行品の作り直しもそれほど大変な思いをすることは無いと思います。薬手帳なども決められた引き出しに保管されているのでしょうか。東日本の震災では津波所以のケースが多くとは思われますが病院のシステムが損壊しそれらの情報が失われた事例も少なくはありません。もしもの時にそれらを確保できるでしょうか？場合によっては書類のコピーを非難袋に格納する等の対応も検討してみてもいいでしょうか？これらを家族全員の分、場合によってはペットの予防接種証明なども有用でしょう。

自助～子ども、家族を守ること

東日本大震災は、息子が生まれてから初めて経験した大きな地震でした。以来、幼い我が子を守るための防災対策について見直しを始めました。子連れの避難に必要な物を非常用バッグに追加して玄関近くに置き、自宅避難の際に必要なお水や非常食についての定期点検を怠らない事を心に誓いました。作業しながら、災害に向け常に万全の準備をしていた父の姿が頭に浮かびました。すべては家族を守るためだったのだと、改めて感謝の念がこみ上げました。私も家族を守るため、できる事から一つ一つ始めていこうと思います。 [片瀬山5丁目、杵淵 順子]



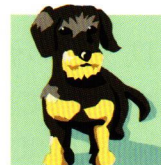
防災ゼミナールが開催されました

自治会役員の方々と防災会幹事を対象に片瀬山の防災体制への理解とそれぞれの役割を知っていただく為の防災ゼミナールが6月25日に片瀬山地区の広域避難所である片瀬中学校にて開催されました。衛生、救護、情報、食料、総務、物資、防犯交通、名簿の各グループこれまでの取り組み、今後の課題を含めて活発なやりとりがなされました。特に今回は先日の震災時の状況を受け、広域避難所としての片瀬中学校の認識に注目が集まりました。片瀬地区には片瀬山公園（湘南モノレール目白山下駅そば）、江の島サムエル・コッキング苑、合わせて3つの広域避難所、神奈川女性センター、片瀬小、白百合学園高・小、といった避難施設があります。それぞれがあるレベルでの震災耐性は兼ね備えておりますが、今回東北地域で発生したような津波の甚大な被害に対して耐性が高いイメージをもたれるのが片瀬山地区の避難所施設です。従来、片瀬山地区の為の施設との漠然としたイメージが多くの方の住民の方に持たれて参りましたが、あらためてこうした状況を受け備蓄等、施設準備規模の妥当性が議題に上り、優先的に施設利用が可能と考えていた我々近隣住民としての立場が各班で討議されるに至りました。確認

(前頁より続く) 事項としては、備蓄物資は基本的には持ち合わせの無い多くの外部からの一時避難者をも対象とした備えであること、住民は物資が被災しない限りでは各自の備蓄での対応を期待されている事が報告されております。その他、町内に於いて一時避難所の体制の拡充の取り組みが直近では始まっております。

災害発生時のペットの対応

先日行なわれた防災ゼミナールでも広域避難所(片瀬中学校)でのペットの対応が話題になりました。普段から犬や猫、鳥などのペットと家族同様に暮らしている人達はいざ住居から避難が必要となった場合にも一緒に避難をしたいという思いを持つことは自然かもしれませんが、しかしながらそうではない人達にとっては必ずしも同様のレベルで理解して貰うという具合にはいきません。喘息等、アレルギー等を持っている人達もいらっしゃるかもしれません。短期的避難と長期的な避難に状況を分けて考えなければなりません、お隣の茅ヶ崎・寒川ではこうした状況も踏まえてガイドラインを策定し、平時の訓練活動にペット対応も入れております。片瀬山地区を含む藤沢では残念ながらまだこの様な取り組みは行なわれておりません。私達の地域もペットを飼われている御家庭が少なくありません、早急な対応が必要となります。



茅ヶ崎・寒川動物愛護協議会の情報: <http://cs-animaldoctor.com/infomation.htm>

今年の防災訓練は9月10日(土) 9~12時

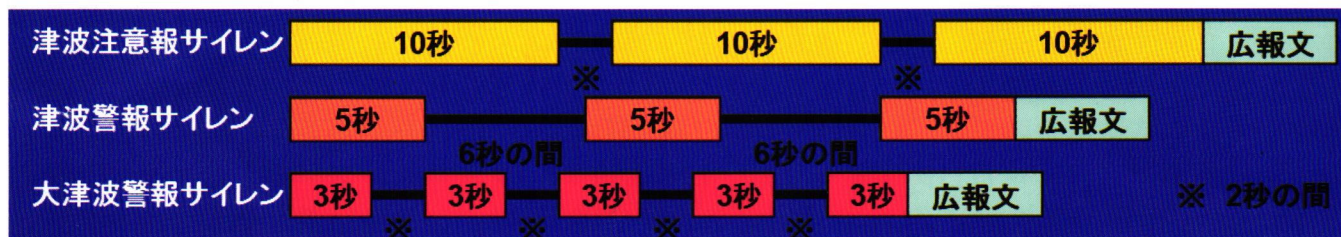
いざという時に慌てないためにも防災訓練には繰り返し参加しましょう。例年、安否確認訓練の後、実体験を主とした訓練が行なわれてきましたが多くの住民の方が既に経験を積まれたので、今年は各自の災害に対する備えに関して藤沢市災害対策課の方にお話を頂き、器材点検



(埋め込みトイレ、濾過機)、消火器・簡易担架・三角巾といった物の使い方説明、各家庭で揃える非常食等展示(試食)などが行なわれる予定です。まだまだ暑い時期ですので、各自暑さ対策、水等を持参下さる様お願いします。また、中学校構内(体育館)に入るにあたり、各自スリッパ等の上履き、下足を入れるレジ袋なども持参下さい、宜しくお願いします。

津波注意報・警報発令時の防災行政無線のサイレン

気象庁より津波注意報・警報が発表された時に藤沢市では防災行政無線でサイレンと広報を流します。防災行政無線の広報文は電話(0180-994-144)でも確認できます。(但し、PHS、IP電話、NTTひかり電話等では利用出来ません。)



編集後記: 東日本大震災から半年、落ち着きを取り戻すと共にややもすると当時抱いた危機意識が薄れてきた様に思われます、要注意です。



発行: 片瀬山防災会

連絡先: メール kataseyama.bosaikai@gmail.com

発行責任者: 会長(佐藤) 編集責任者: 広報(本澤)